

モモの摘蕾・摘花作業のポイント

モモは、花芽の着生が非常に多いため、開花前に不必要な花芽を摘み取り、開花結実に必要な貯蔵養分の浪費を防ぎ、新梢の初期生育や果実肥大を促進させるための重要な管理作業である。

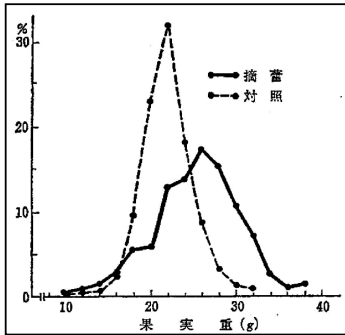


図1 果実生育に及ぼす影響
モモは、他の果樹に比べ、生育期間が短いため、初期生育が最終的な果実品質（玉張り）に影響が現れやすい。

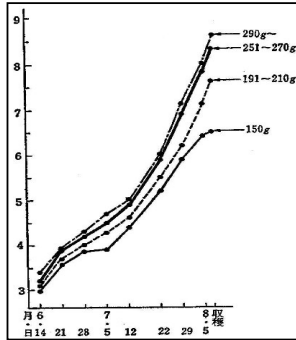


図2 収穫時の果実品質
満開50後の果実の大きさが、そのまま収穫時の果実重へとつながりやすい。

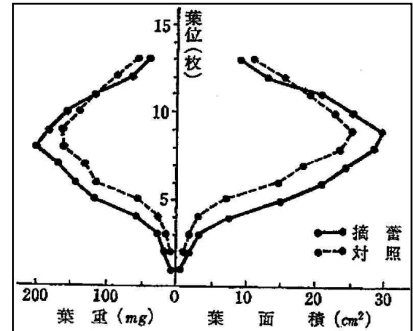


図3 葉面積・葉重に及ぼす影響
摘蕾を行い、貯蔵養分の浪費を防ぐことにより、葉（新梢）の初期生育が良好となりやすい。

◆摘蕾の方法と蕾を残す位置

〈長果枝・中果枝〉

片手で枝の先端をつまみ、他方の指で基部に向かって軽くこすり、花芽をしごき落とす。
葉芽のある部位に残す。また、葉芽を落とさぬように注意する。

〈短果枝〉

指先で結果枝全体を揉むようにして落とす。
残す位置は先端部とする。

【摘蕾の方法】

◆枝による花芽の残す位置

〈長果枝〉
30~50cm
中央部に6~7蕾

〈中果枝〉
20~30cm
中央部に3~4蕾

〈短果枝〉
15cm前後
先端付近に2~3蕾

- ・ 結果枝の基部や葉芽のない部分の蕾はなるべく摘み取る。
- ・ 1ヶ所に2~3蕾着生しているものは、大きな蕾を1蕾残す。
- ・ 残す方向は、上向きの蕾を取り、下向きの蕾を残す。

◆摘蕾の程度

強くする	【摘蕾の程度】	弱くする
あ る	花 粉	無 い
少 ない	生理落果	多 い
弱 い	樹 勢	強 い
老 木	樹 齢	若 木
弱 い	剪 定	強 い
下 部	樹冠の部位	上 部
少 ない	施 肥 量	多 い